

LIBRARY OF THE YEAR 2021
オーディエンス賞紹介資料

NPOにおける
住民主体型図書館運営14年のあゆみ

指宿市立図書館+NPO法人本と人をつなぐ「そらまめの会」



指 宿 市 概 要

- ・ 年間平均気温は、暖流の影響で**平均約18度**
- ・ 人口**38,449人**(2021年10月1日 現在)
- ・ 面積**148.84平方キロメートル**の花と緑に溢れた食と健幸のまち
- ・ 九州一の大きさを誇る**池田湖**
- ・ 標高924メートルの薩摩富士の別名で呼ばれる**開聞岳**
- ・ 1日に10万トンも湧き出る清水。豊かな水環境を有する**そうめん流し**
- ・ **橋牟礼川遺跡**や**水迫遺跡**に代表される歴史的にも貴重な遺跡
- ・ 4月29日にアロハ宣言、**アロハシャツが制服**（4月末から10月末まで）
- ・ **天然砂むし温泉** ・ **なのはなマラソン**
- ・ 小学校9校、中学校5校、高校3校、特別支援学校1校
- ・ 図書館2館（指宿図書館・山川図書館/開聞図書室は2011年電算化の折、閉室）

指宿

東洋のハワイ

(いぶすき)



「白波乃下に熱砂の隠さるる不思議に逢えり指宿に来て」

(与謝野晶子)



4期15年目



Ibusuki library

Yamagawa library



指宿市立指宿図書館

建築年	昭和59年8月1日（築37年）
敷地面積	2,737 m ²
建築面積	859 m ²
延床面積	1,545 m ²
蔵書数	89,719冊（令和3年3月末）
開館日数	129日／291日（令和2年度）（コロナ対策と空調機改修工事のため）
年間貸出冊数	66,661冊／126,472冊（令和2年度）（1日平均 517冊）
年間入館者数	14,133人／46,262人（令和2年度）（1日平均 110人）
年間貸出人数	10,429人／23,789人（令和2年度）（1日平均 81冊）
図書館職員	正規職員 4名、パート職員3名 計7名（うち司書資格者6名） （会計専任1名、視聴覚ライブラリー兼任1名含む）

指宿市立山川図書館

建築年	平成7年10月24日（築26年）
敷地面積	6,268 m ²
建築面積	839 m ²
延床面積	1,591 m ²
蔵書数	63,288冊（令和3年3月末）
開館日数	263日／291日（令和2年度）（コロナ対策のため）
年間貸出冊数	66,723冊／57,518冊（1日平均 254冊）（指宿図書館休館の影響もあり）
年間入館者数	18,967人／28,018人（令和2年度）（1日平均 72人）
年間貸出人数	12,984人／12,145人（令和2年度）（1日平均 49人）
図書館職員	正規職員 3人、パート職員2人 計5人（うち司書資格者4名）

管理業務関連の有資格者状況 ＊重複者あり

資格等	人数
認定司書（日本図書館協会認定）＊鹿児島県内では3人のみ	2人
司書（施設管理に伴う資格）	9人
司書教諭	2人
ビジネスライブラリアン	3人
小学校教諭、幼稚園教諭、保育士資格	2人
中学・高校教諭免許（国語）	1人
防火管理者（施設管理に伴う資格）	2人
情報処理士	1人

表彰

-
- 平成27年 子どもの読書活動推進優良図書館（鹿児島県教育委員会/指宿図書館）
 - 平成29年 社会教育優良団体表彰（指宿市教育委員会）（NPO）
 - 平成29年 READYFOR賞（READYFOR株式会社・本のある空間を届けるブックカフェプロジェクト）（NPO）
 - 平成29年 国際ソロプチミスト鹿児島 社会ボランティア賞（国際ソロプチミスト鹿児島）（NPO）
 - 平成30年 子供の読書活動優秀実践図書館 文部科学大臣表彰（文部科学大臣表彰）（指宿図書館）
 - 令和元年 地域社会貢献賞（鹿児島県知事表彰）（NPO）
 - 令和2年 第6回図書館レファレンス大賞 審査委員会特別賞（図書館レファレンス大賞審査委員会）（指宿図書館）
 - 令和3年 子どもの読書活動推進優良図書館（鹿児島県教育委員会/山川図書館）
 - 令和3年 第7回図書館レファレンス大賞 審査委員会特別賞（図書館レファレンス大賞審査委員会）（指宿図書館）



活動事例

子育て支援





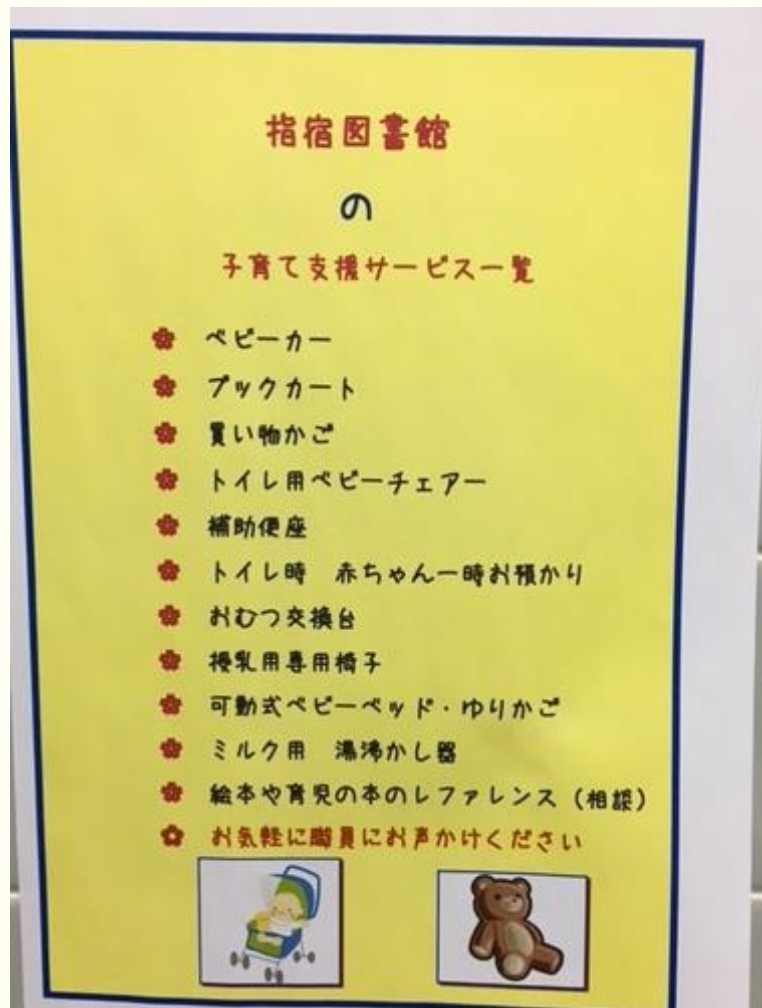
あるものの目線を変える
 もともとは職員休憩室
 図書館の子育て支援
 おむつ交換台・授乳専用椅子
 電気ポット
 北風と赤ちゃんのおしり

地域子育て創生資金活用
図書館にない予算をどう確保するか福祉課担当職員とのチームプレイ
指定管理者の発案を行政がサポート、官民連携型図書館運営



お母さんの気持ちになってみる、と気づく。
他人事のうちは見えない。





伝わらなくては、伝えたことにはならない。

人気はトイレ時、赤ちゃんお預かりします。



「指宿の昔話紙芝居」制作
博物館との連携（MLA連携）
「図書館・博物館における地域の
知の拠点推進事業」
郷土資料のデータベース化
（文化庁の補助金・いぶすきまるごと博物館事業）
「方言は宝」ネットでの視聴可



いぶすきまるごと博物館

図書館×観光・足湯コラボ

いぶすきのむかしばなしをいぶすきの言葉でおもてなし
地域のボランティアをまきこんで・・・

こちらから動画でご覧いただけます。

<https://www.city.ibusuki.lg.jp/marugoto/mukashibanashi/>



よるの図書館★よるのおはなし会

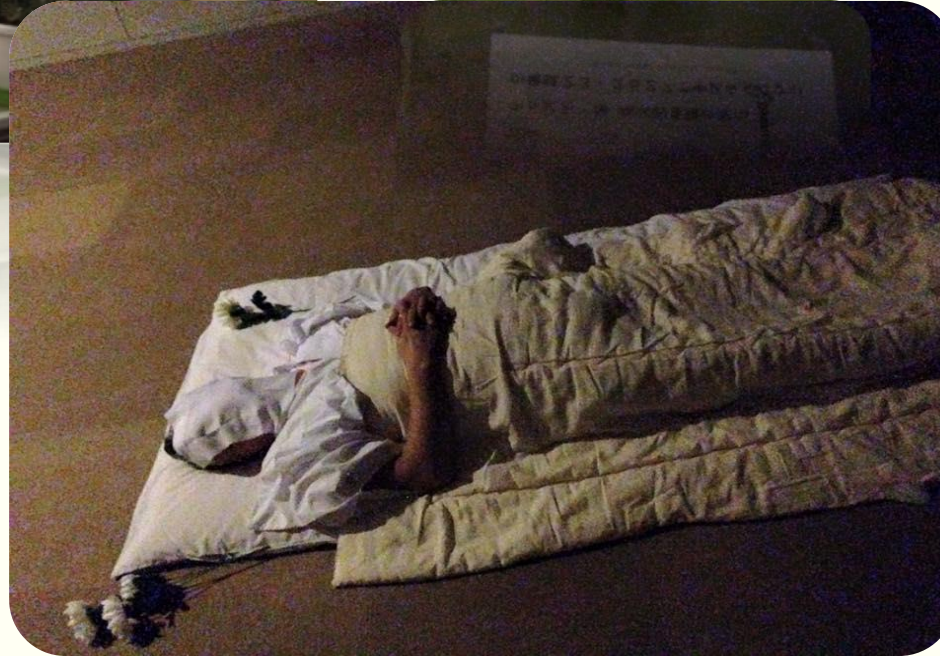
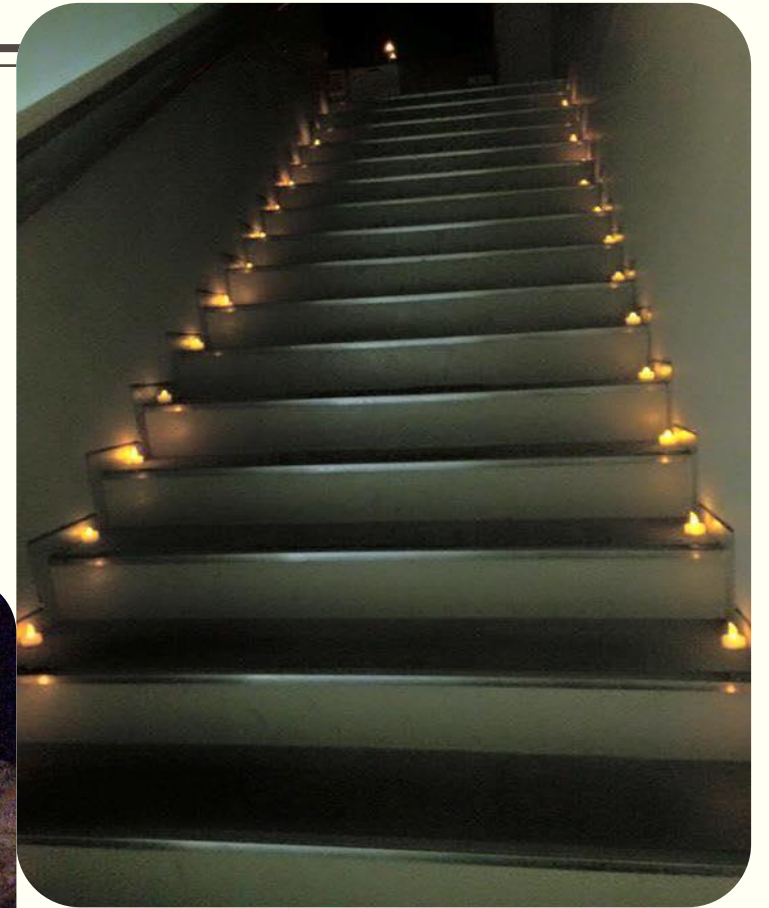
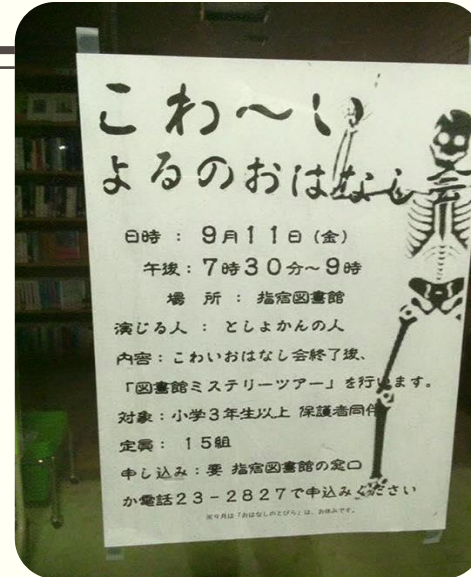
働いている両親やその子どものサポート
学んだことを机上論だけにせず五感で感じることの大切さ
自然科学を子どもたちの傍らに……
学芸員との連携



胸きゅん ときどきの夏休みセミの羽化観察会
～頭で学んだことを心で感じよう～



図書館 ミステリーツアー



まちの助っ人と楽しもう！



図書館いも畑
山川は前田利右衛門の郷

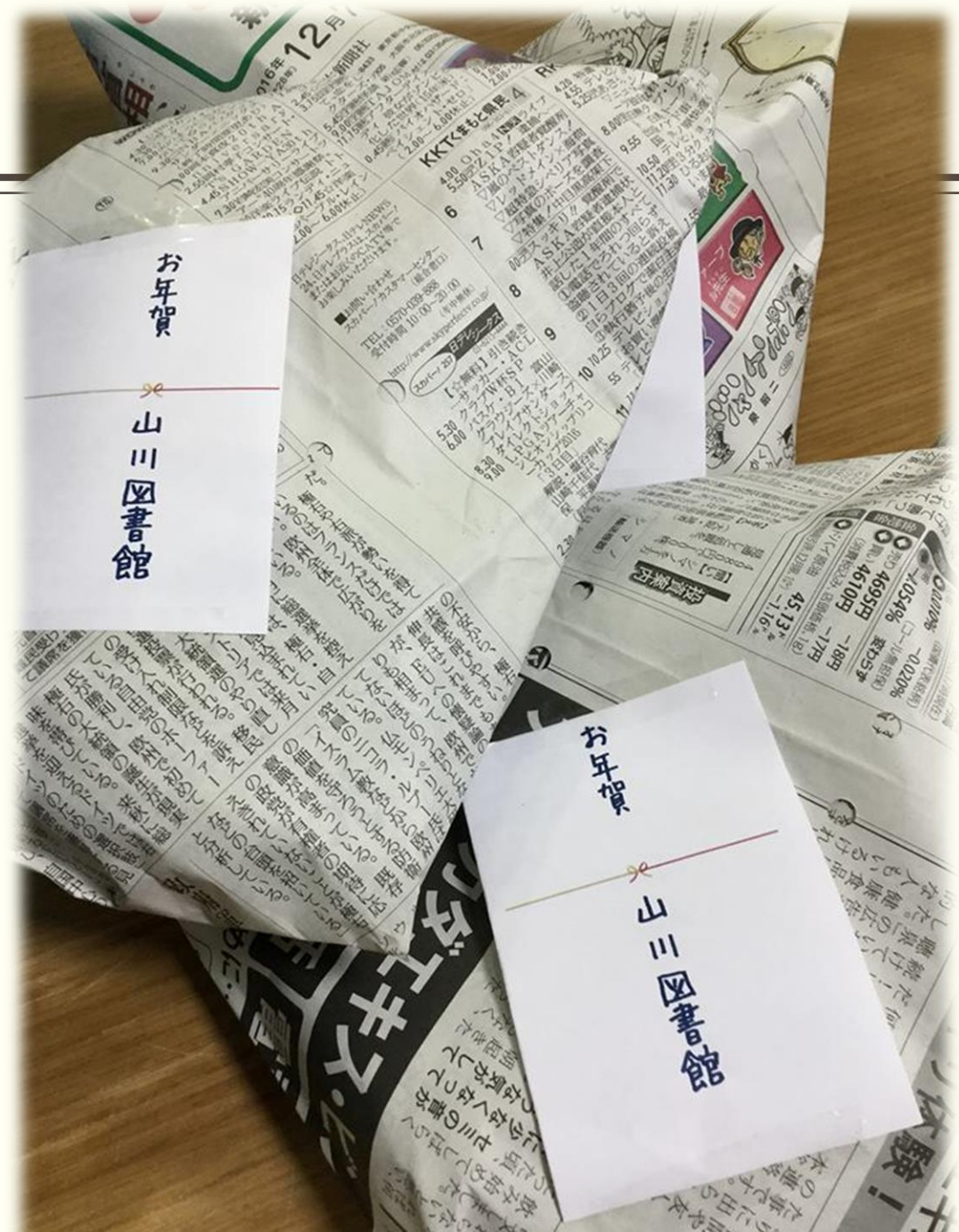
きっかけは呑みニュケーション
勢い大事
もともとリアル系図書館でした
たまたまJA幹部の方と同席
「図書館畑作ろう!!」

図書館×JA×山川高校（農業経済科×ユーザー）





図書館でギャラリートーク
頭でっかちだけではだめ
そこに体験が入り、初めて人は知る



苗植えた子に招待状
何度も何度も見たらしく

当日はしわだらけ(泣)
食育へ



ぬいぐるみおとまり会



いろいろな組織との連携

・長寿支援課×図書館

- ⇒ 認知症への取り組み
- ⇒ コーナー展示・講演会・相談会・認知症サポーター養成講座

・男女共同参画推進委員×図書館

- ⇒ DV・LGBTコーナー

・健康増進課、保健事業係×図書館

- ⇒ うつの方の図書館利用とおはなし会・マタニティーおはなし会

・健康増進課×図書館

- ⇒ 自殺予防月間のテーマ展示・高齢者へのおはなし会

・地域福祉課、障害福祉係×図書館

- ⇒ 風袋貸与、文芸いぶすきの点訳及び朗読テープへの変換

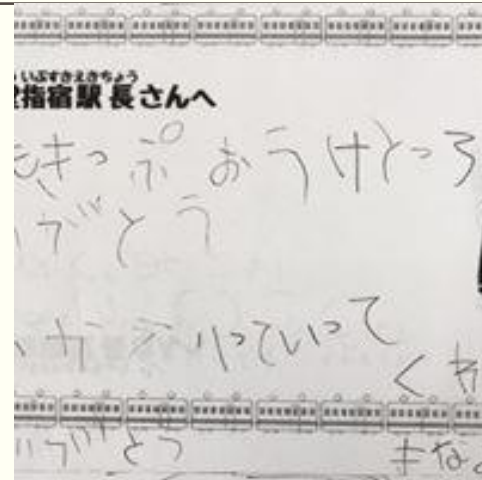
・指宿市手話サークル「なのはな」×図書館 ⇒ 手話による利用案内

・指宿点訳ボランティアサークル「点指の会」×図書館 ⇒ 書籍の点訳本



指宿駅×図書館 鉄道ファンの君たちへ

図書館主催JR指宿駅ツアー、駅長さんへの手紙、制服着て駅長さんと写真撮影、列車の車掌室体験、駅ライブラリー、たまてばこ号で図書館員が文献で語る観光案内、駅で紙芝居。



多言語対応・言葉は絵（ピクトグラム）で



公共図書館の特定録音物等郵便物発受施設

PICK UP NEWS

録音図書の郵送ができるようになりました

指宿図書館では、日本郵便から発受施設の指定を受けたことに伴い、視覚障害者に録音図書などを郵送で貸し出しできるようになりました。

- ▶対象／視覚障害者1級、2級の人（視覚障害者3級・4級などは、電話で相談してください）
- ▶貸出冊数／10冊まで
- ▶返却期限／貸出日から2週間
- ▶申込方法／電話か直接
- ▶利用料／無料

申問 指宿図書館

☎232827



中 途失明の私は、広報誌を音訳していただき情報を得ています。月2回、音訳してくださるボランティアの方々には、とても感謝しています。また、読みたい本は、県情報センターからCDまたはテープを郵送してもらって聞いています。地域の図書館から直接、読みたい本、知りたい情報が、点訳物・音訳物として借りられたらどんなにいいでしょうか。

（55歳 H・S）

4月に特定録音物等の発受施設の指定を受けた指宿図書館。これにより、本を朗読したテープなどを送付する郵便料が無料になります。図書館では今後、テープの種類を増やして、サービスの充実を図っていく予定です。

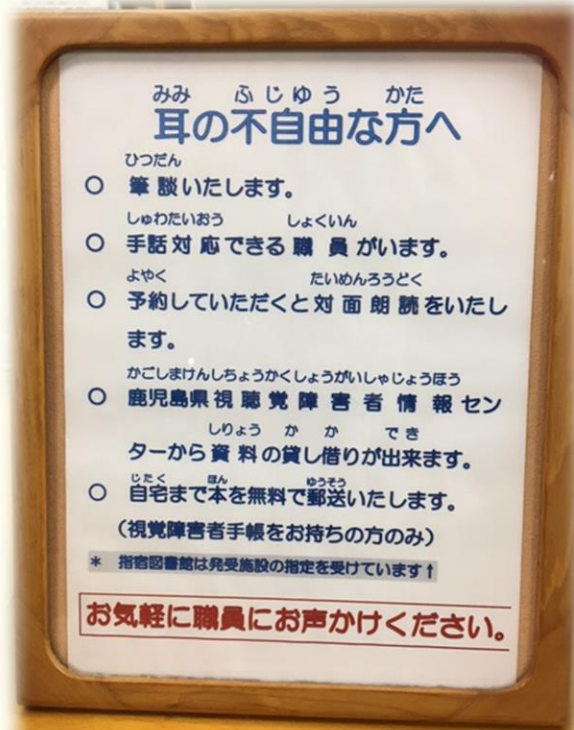
地域の声を拾う

現在は、対面朗読ならぬ電話朗読（ベルトーク）を行っている。（市身体障害者協会との連携）

具体的な活動の様子 地域福祉課・健康増進課との連携

図書館の利用に障害のある人々へのサービス

- ・筆談・手話・電話での朗読・発受施設(郵送)・点字ブロック・車椅子
- ・点訳サークルとの連携・点訳本の収集・わいわい文庫・大活字本・朗読CD等



わ	ら	や	ま	は	な	た	さ	か	あ
を	り	ゆ	み	ひ	に	ち	し	き	い
ん	る	よ	む	ふ	ぬ	つ	す	く	う
ー	れ	ゝ	め	へ	ね	て	せ	け	え
一	ろ	°	も	ほ	の	と	そ	こ	お
1	2	3	4	5	?	っ	や	ゆ	よ
6	7	8	9	0	!	☺	☹	☹	☹



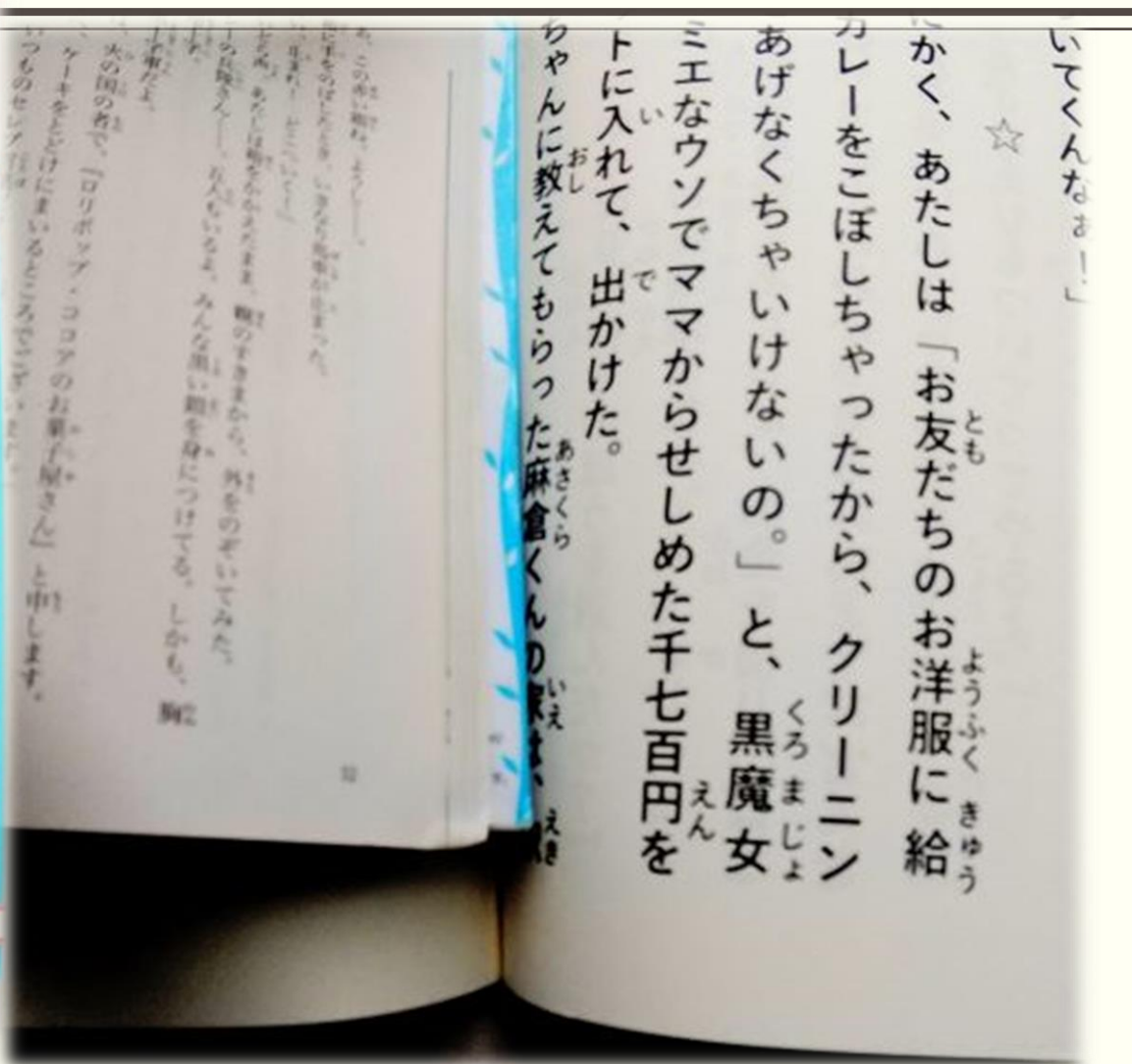
障害のある子どもたちのための読書支援事業

わいわい文庫

ディジー
~マルチメディアDAISY図書~

様々な障害のため、通常の本を読むことが困難な子どもたちのための文庫です。
電子化(マルチメディアDAISY規格)した児童書を、全国の学校、図書館、医療機関等の団体へ無償で提供しています。

～弱視の子どもたちへ～



令和元年度の年間職員研修

月1回の手話講習会スタート

利用者に聴覚障害者がいるから
手話を学ぶのか

手話のできる図書館員がいるから

聴覚障害者利用につながるのか

手話による動画案内

新聞掲載記念
令和2年(2020年)7月6日(月)17面

図書館全職員が1年間研修
手話の案内動画制作

指宿
指宿市の指宿、山川両図書館の職員が、手話を使った利用案内動画を公開している。障害に関係なく、気軽に利用できる施設を目指し、全職員が研修で手話を学んだ成果を生かした。「図書館を身近に感じてもらえたら」と期待を寄せている。

「本は心の友」気軽に来て

動画は4分30秒。動画サイト「ユートユー」に投稿され、図書館のホームページから見られる。職員11人が順番に出演して貸し出しカードの作り方や一度に借りられる冊数など利用方法を手話で説明している。

指宿市土町 川口市土町

で説明。最後は全員で「みなさまのお越しをお待ちしています。本は心の友達です」と結ぶ。

研修は2019年度に実施。月1回、地元の手話サークル「なごの花」(出森俊郎代表)のメンバーから指導を受けた。講師を務めた聴覚障害者の中山アヤさん(79)は「手話が通じる人が増えればうれしいし、安心する。みんな上達が早かった」と目を細める。

職員は今後も交流を続けてさらにスキルアップを図る考え。指宿図書館の田中一輝さん(28)は「学んだことを生かし、しっかり対応したい」。

鹿児島県の手話言語条例が3月に施行されたばかり。同館の下吹越かおる館長(57)は「言語としての手話を図書館運営に生かす動きが県内広がつてほしい」と願っている。

(北村茂之)

南日本新聞社

平成31年2月20日スタート
ブックスタート連動・生まれてからの読書履歴へ



ブックスタートの本を図書館で受け取る
指宿で生まれた赤ちゃんだから

一人の市民の権利としての自分の利用者カード
あなたの名前で借りる本はあなたの生きた歴史



第22回図書館総合展 第6回レファレンス大賞 (2020年11月5日)

審査員会特別賞 受賞 (動画: <https://2020.libraryfair.jp/forum/2020/f006>)

戦前牛乳瓶 孫の元へ



牛乳瓶を拾った川畑涼子さん（左）と受け取った中村忠生さん（右）
＝指宿図書館

瓶は開閉十町の飲食店従業員川畑涼子さん（43）が7月、出勤途中に市街地の道路で見つけた。古い空き家から大雨が流れてきたとみられる。泥を落とすと側面に「林山牧場」「電話一七番」と刻印があった。もともと古いものに興味があり、会員制交流サイト（SNS）で情報提供を呼び掛けた。電話番号から市中心部とまでは分かり、古い電話帳がないかと指宿図書館に相談。館には関連資料はなかったが、レファレンス業務（調べ物相談）の一環として、職員が昔を知る90代の住民ら6人に聞き取りを進めた。住民の話をもとに、牧場は戦前、現在住宅地になっている大牟礼1丁目付近にあり、50頭ほどの乳牛を飼っていたらしい。近くに住む中村忠生さん（80）が、牧場経営者の孫に当たると分かった。9月に川畑さんが中村さんを訪ね、牛乳瓶を手渡した。台湾で生まれた中村さんは「母から指宿の

地元の牧場製造

指宿市に太平洋戦争前にあった牧場の牛乳瓶が見つかり、当時の経営者の孫に届けられた。偶然拾った同市の女性から相談を受けた指宿図書館が、瓶の刻印を基に地域住民から情報を集め、橋渡しした。

指宿

図書館調査が橋渡し



林山牧場の刻印がある牛乳瓶

実家は牧場だから牛乳がたくさん飲めると聞いていたと振り返る。しかし、牛乳配達をしていた牧場の息子たちは戦死。中村さんが8歳で母の故郷に戻った時には牧場は閉鎖されていたという。中村さんは「よく残っていたなとびっくりした。戦争で息を亡くした牧場をやめた祖母の悲しみが思い出される」。川畑さんは「図書館がここまでしてくれたとは思わなかった」と感謝し、「館が地域の歴史をひもといていく過程が興味深かった」と話した。指宿図書館の下吹越おる館長（57）は「地域の人の記憶をつないで知りたいことに答えることができた。書物などの資料調査だけではなく、聞き取りの大切さを改めて実感した」と語った。（北村茂之）



(2019年10月30日)

川薩地区
土器手 皇龍
龜山小6年
(薩摩川内市)

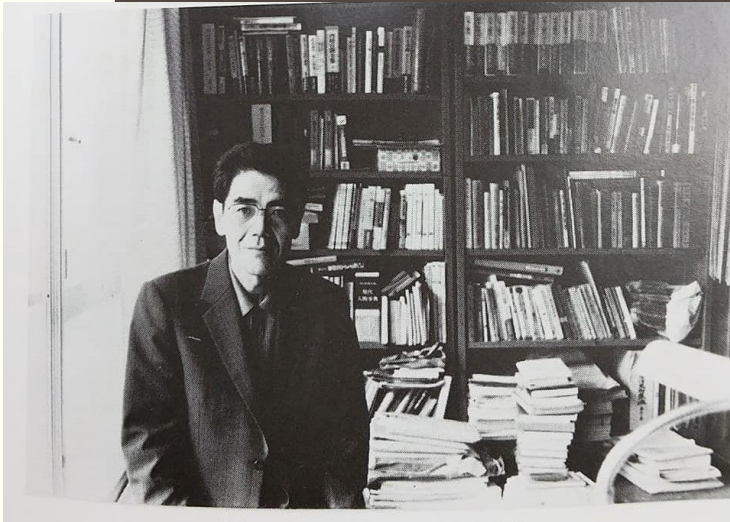
「なぜ？」を実行へ

でも見向きもしなかったと思います。彼女がSNSで呼びかけ、私たちは図書館までお願いをしたところ、お返ししました。いから興味があつても「なぜ？」を実行に移すことは困難です。ぼくは、これから自分が抱いた疑問や思いついたことに対し、「なぜ？」「を」とん追求めて、新しい発見をしていきたいです。

【保護者から】
「本の牛乳びんが時代をえて人々の暮らしで持ち主に戻りました。人のつながりの大切さや、誰かを思う優しい気持ちをこの記事で感じ、息もいつか誰かの役に立てるような人間になってほしいです。」



第23回図書館総合展
第7回レファレンス大賞(2021年11月8日)
審査員会特別賞 受賞



島尾敏雄レファレンス動画

<https://www.youtube.com/watch?v=PyTWtCFKR6g>

第7回図書館レファレンス大賞 最終審査・授賞発表 | 図書館総合展
(libraryfair.jp)



貸出バッグの劣化、市民が手作り支援約800枚



図書館で結婚式前撮り

第3種郵便物認可

思い出の指宿図書館で撮影に臨む濱田佑允さん、かおりさん夫妻
＝指宿市十二町



本が結んだ愛 図書館で誓う

指宿・濱田さん夫婦 結婚写真を前撮り

新しい人生のスタートは、思い出の詰まった図書館で。今秋の挙式を控えた指宿市のカッパルが、指宿図書館で結婚写真を撮影した。共通の趣味である読書を通じて愛を育んだ2人に、館も「前撮り証明書」を発行して祝福。閉館後の静かな空間が、晴れやかな笑顔に包まれた。

3月末に婚姻届を出し、諾した。撮影は7日夜にあり、た同市湯の浜6丁目の団体職員濱田佑允さん(34)とホテル従業員のかおりさん(32)。

2年前の秋に婚活イベントで知り合い、互いに本好きだったことから意気投合した。好きな小説を紹介し合い、佑允さんは実家の南九州市にある顔姪図書館、かおりさんは近くの指宿図書館で相手の薦めた本を借りて、感想を語り合った。

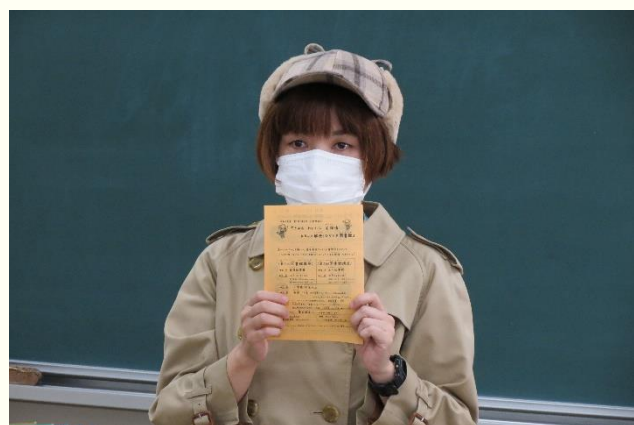
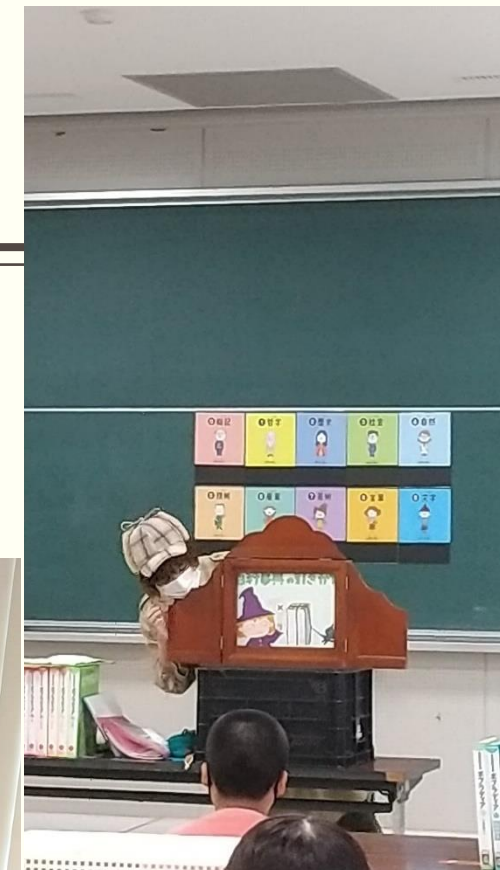
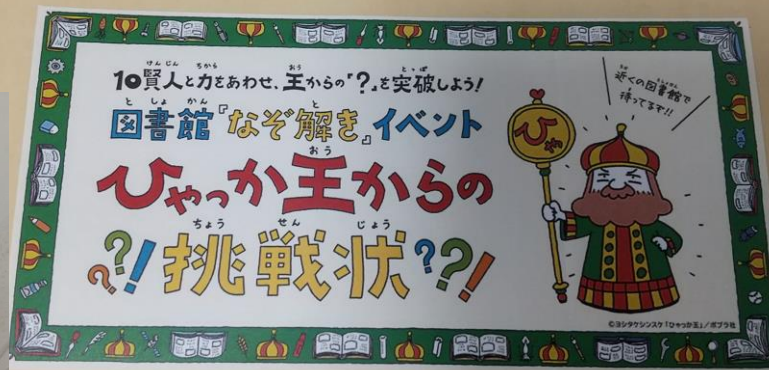
指宿図書館を2人で訪れ、お気に入りの一冊を見つけたこともある。撮影は「せつかなら思いたい」と、かおりさんが希望。同館での結婚写真撮影は初めてだったが、市や運営するNPOも快く出迎えた。と話し、(兵頭昌岳)

撮影は7日夜にあり、2人はタキシードと真っ白いドレスで登場。職員や家族が見守る中、約1時間かけ、2人でそれぞれ借りて読んだ原田マハさんの「ギネマの神様」など思い出の本を手を寄りに添ったり、本棚を背景に見つめ合ったりする姿を写真に収めた。

撮影後、館から「これからも本のそばで末永くお幸せに」「図書館は新生活を応援しています」と書いた手作りの「結婚式前撮り証明書」が贈られた。式は11月の予定。2人は「読めたり一緒に読んだりした本がある心地よい場所。温かく対応してもらい、一生の思い出になった」と話した。



調べる力・楽しさ



生きた「情報」も図書館の大きな柱

- 館内Wi-Fi
 - インターネット端末機設置（30分）
- 自分のパソコン持参での学習OK。充電も可能
 - 県内公共図書館横断検索
- 県立図書館ポータルサイト活用の相互貸借
 - HPからの予約
 - 国立国会図書館オンライン
- 国立国会図書館レファレンス共同データベース
 - 郷土資料のデータベース化

図書館員とはなにか

図書館員とは「つなぐ人」である

本と人を、地域と図書館を、知ることが楽しいことだとつなぐこと

心のアンテナをどう立てるのか

プロたれ！

常に掲げる目標

仕事や生活に役立つ情報を
高いレベルで提供しつつ
他のサービスと同様に
当たり前の図書館サービスとして
利用者から認知されること
図書館が社会の中で必要な機能であると
多くの人に認識されること



お昼寝できる図書館ってサイコーだ。図書館は、まちのオアシス。



指宿市シビックカフェ事業

(<https://www.city.ibusuki.lg.jp/main/kyosei/kyosei/machi/page004819.html>)

人と人が交差する居心地の良い場所
飲み物OK! 館外Wi-Fi OK! 小さな雑談OK!
図書館の外も図書館構想
サードプレイス(居場所)としての図書館



PUBLIC LIBRARY : ALL ARE WELCOME.

